



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 102 号(2015 年 1 月 30 日発行)  
発行：岡山大学法学部 学部長室

=====  
寒さ厳しい中、梅の花がほころび始めました。

## 目次

- 法的に考えるということ
- 法学部からのお知らせ

- 
- 法的に考えるということ
- 

中世ヨーロッパの大学ではスコラ学といわれる方法が研究・教育の基盤となっていた。中世末以降、人文主義や科学革命の時代を経て、スコラ学はすっかり過去の遺物のようになってしまったが、法解釈学は現代でもスコラ学的方法を色濃く残している分野である。

スコラ学の一つの特徴は、聖書やローマ法大全などの権威あるテキストを根拠に問題に対する解答を見いだしてゆく所にある。しかし、テキストは必ずしも首尾一貫しておらず、一見矛盾する内容を持っていたりもする。スコラ学では、こうしたテキストを否定したり無視したりするのではなく、これに注釈を加えて精緻に読み解き、テキスト間の矛盾を調和させ、そのテキストを根拠にして自らの主張を構成してゆく。

中世大学では、テキストの注釈を中心とした「講義」 *lectio* と、ある問題について肯定否定の立場から議論する「討論」 *disputatio* が行われていた。この「討論」で重要なことは、自説とは異なる異論の根拠を十分に検討して、自説を補完し、その過程でさまざまな事柄を吟味することである。

現代の講義と演習を中心とした法学教育の原型は、中世大学の教育システムにあり、法文を根拠としてさまざまな問題について論じる法解釈の方法は、ヨーロッパ中世のスコラ学的方法を継承するものである。

中世の大学で教育の中心であったローマ法はかならずしも現実に裁判所で適用されていたものではない。中世以来、一〇世紀近い歴史を超えて教授されてきたのは、実定法についての知識よりもむしろ法的な思考方法であり、テキストに基づいた根拠を示しつつ議論する方法なのである。そうした方法を身につけた卒業生は法律家になるだけでなく、聖職者や官吏などとして、社会の基盤となる諸制度を構築し支える人材となった。

現代でも法学部で学ぶことは、個々の法的ルールの内容よりもむしろ法的思考・法的議論の方法である。基本的な論点を整理し、法が採っている議論の筋道を理解しておけば、法改正などがあっても一から法的ルールを学び直す必要はない。なによりもこうした思考方法、議論の仕方を身につけることによって、論点を整理し、問題の理解を深め、自説に固執すること無く、さまざまな立場のメリットデメリットを考え、問題への合理的な対処を考えてゆくことができるようになる（はずである）。こうした力は社会の運営に不可欠な力である（と思う）。

「熟議」という言葉やサンデル先生の講義が話題になったことはあるが、現実には、お行儀よく順番に自説を開陳するだけで議論を噛み合わせる気の無い「討論」や、暴力的・権力的に反論を封じ込めるだけの「討論」ばかりが目立っている。議論の方法を身につけていない人は、議論が議論になっていないこともわからない。異論に耳を傾けないで自説を強硬に主張する人は、迷いも無く明快な主張をしているようにも見える。知的で冷静な議論がバランスを欠いた主張によって暴力的に潰されることも珍しくない。

法的思考に現実的な力を持たせるためには、「正義を踏んで恐れず、学理のためには身首処を異にするを辞せざりしパピニアヌス」のような「毅然たる節義」（穂積陳重『法窓夜話』）が必要となることもある。パピニアヌスにはなれなくとも、法学部で法学を学び、正義を基礎に考えてゆくことで、「毅然たる節義」もまた（少しは）涵養される（と思いたいのだが）。

-----  
○ 法学部からのお知らせ  
-----

☆今年度卒業予定のみなさんへ

(卒業記念パーティー実行委員会からのお知らせ)

岡山大学法学部卒業記念パーティー

日時： 3月25日(水) 16:30～(受付16:00～)

場所： 岡山大学ピーチユニオン4階

会費： 2000円

服装： ドレスコードはありません。

申込は①氏名(メールの件名に記載してください)②3年次所属ゼミを記載の上、  
下記実行委員アドレスまでメールをしてください。締切：3月15日(日)

okadai.graduation@gmail.com

岡山大学法学部卒業記念パーティー実行委員会

[http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/event/event\\_id13.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/event/event_id13.html)

- .....
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
  - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。  
法学部 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
  - ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
  - ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
  - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp) まで。